

個別最適化学習に関連した議会での答弁からの抜粋

令和2年7月3日高等学校課

〔平成30年3月8日／福浜議員〕

タブレット端末の活用により、学習意欲を掻き立てることができ、理解度に応じた学習も可能となる。

⇒一人ひとりの習熟の度合いに応じた繰り返しの学習ができる点で効果があると考えている。

〔平成30年12月12日／西川議員〕

これからの予測困難な時代を生きる子供たちに必要な力をつけさせるための教育の役割とは。

⇒子供たち一人ひとりが様々な可能性を秘めている。夢や目標に向かうチャレンジを大人が温かく見守り、可能性を最大限伸ばしていく教育を県民一体となって取り組んでいきたい。

〔令和元年9月17日／川部議員〕

自ら課題を設定して解決する能力、自立して生きていく能力を育てるには、一人ひとりの個性や能力を伸ばす教育の方法を確立しなければならない。

⇒体験的、探究的課題解決型の学習が必要と考えている。実際に本物に触れたり、或いは人と直接関わり合う、直接体験の機会、そうしたことを充実させ、子供たちや地域の大人との対話や協働を経験することも一層大切になると考え、アクティブラーニング型の授業への授業改革に加え、探究の学びにも力を入れて取り組んでいる。

〔令和2年2月28日／浜崎議員〕

GIGA スクールの実現は、不登校対策などにも活用できるものとして期待するが、求められている整備のスピードが早急であり、教員の指導力向上及び授業の質の改革などの課題に対応しきれるのか。GIGA スクール構想に対する現状の課題と今後の対応について教育長の所見を伺う。

⇒「誰一人取り残すことのない個別最適化された学びの実現」という国の方向性を踏まえ、本県でも子ども一人一人の学びを支えるGIGAスクール構想に取り組んでいきたいと史料。そのためには、学校の核となる人材の育成のほか新時代の学びをイメージした授業モデルの創造とその発信、実践の情報発信など個々の教員への支援を充実させたい

〔令和2年6月23日／野坂議員〕

この度のコロナ禍において、教育長には、学校の教育機能をどのように維持してきたのか所見を伺います。

⇒「子どもたちの学びを止めない」ためオンライン学習などの対応を行ったが、コロナが収束後もこれまでの対面教育で培ってきた教育実践の蓄積の上に、最先端のICT教育をり入れ、これまでの実践とICTとのベストミックスを図ることにより、子どもたち一人ひとりに個別最適化された学びや、創造性を育んでいく。